

施策評価調書(23年度実績)

		施策コード	I-2-(1)	
政策体系	施策名	高齢者の生きがいづくりの推進	所管部局名	福祉保健部
	政策名	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり	関係部局名	福祉保健部、商工労働部
		長期総合計画頁	33	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	高齢者の豊かな知識・経験を生かした地域活動の促進	スポーツ・文化・学習機会の確保	老人クラブ活動の活性化	高齢者の就業環境の整備

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)								
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125				
i	60歳以上のボランティアコーディネート率(県ボランティア・市民活動センター)(%)	①	H22	33	36	45.8	127.2%	40	50								
ii	豊の国ねんりんピック(スポーツ・文化)参加者数(人)	②	H22	5,353	5,400	5,275	97.7%	5,500	5,800								
iii	老人クラブ加入率全国順位(位)	③	H21	19	18	-	-	18	15								

【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	達成	ボランティア新規登録者に対し各種研修を実施し、実際の活動へ円滑に移行できるよう支援した結果、目標値を達成した。	達成
ii	概ね達成	豊の国ねんりんピックへより多くの高齢者が参加できるよう実施種目の充実、内容の検討を行うとともに、高齢者を中心とした県民の健康保持・増進、社会参加、生きがい等の高揚を目的とした大会の趣旨を関係機関へ周知し、参加を促進することにより、目標値を概ね達成した。	
iii	-	老人クラブの組織率が全国的に低下傾向にある中、県・市町村老人クラブがいきいき実践大学の開催、ひとり暮らし高齢者世帯への訪問活動、高齢者を対象としたスポーツ、文化活動等の事業を実施し、老人クラブ活動の意義、内容の周知を図った。なお、23年度の全国順位は24年10月頃に確定。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・工芸や伝統文化等地域に根ざした技能、経験を有する高齢者を「ふるさとの達人」として延べ360名登録し、各種行事へ派遣し社会参加を促進した。(派遣回数 5, 460回)
②	・高齢期を豊かに過ごすためにふさわしい知識・教養等を学ぶいきいき実践大学を県内7地域で開催し、2, 578名の参加を得て高齢者の学習機会の確保ができた。
③	・老人クラブ会員による安否確認や悪徳商法等による被害防止等を目的として一人暮らし高齢者世帯訪問を実施し、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進した。
④	・シルバー人材センター登録者のうち81. 3%が就業するなど、高齢者の就業が図られた。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 高齢者いきいき実践活動支援事業	現状維持	42	9,138
	2 高齢者等地域支え合い体制づくり支援事業	終了(24年度末)	58	197,366
②	1 豊の国ねんりんピック開催事業	現状維持	—	9,594
	2 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	現状維持	—	20,278
③	1 老人クラブ助成事業	現状維持	—	40,517
	2 シルバーボランティア友愛訪問等活動促進事業	現状維持	—	11,500
④	1 高年齢者雇用就業対策事業	現状維持	—	11,828

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとの達人」活動について、子育て支援分野での達人の登録を促進 ・より多くの高齢者の参加を促進するため、ねんりんピックのスポーツ交流大会の実施種目を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手高齢者の老人クラブへの加入促進のため、市町村老人クラブ連合会の若手委員会や部会の設置を支援

【VII. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.6)</p> <p>・高齢者の生きがいづくりには、若いころから文化やスポーツ、地域活動などに参加できるような仕組みづくりが大切。</p>	
--	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとの達人」対象者・団体の掘り起こしを引き続き行うとともに、子育て支援分野の登録を重点的に進め地域のニーズに対応するなど、達人の活用促進を図る。 ・多くの高齢者を対象に事業を実施している「いきいき実践大学」について、老人クラブ活動の中心となるリーダーの養成に重点を置いた事業内容への見直しを検討する。 ・大会の実施種目の検証、市町村・関係団体への大会趣旨の周知を引き続き行い、大会への参加を促進する。